



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 不二製油株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 2607 URL <http://www.fujioil.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 海老原 善隆

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 柳井 哲郎

TEL 03-5418-1044

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	59,169	10.6	3,911	△13.5	3,842	△15.9	2,671	△10.9
23年3月期第1四半期	53,510	7.2	4,520	26.8	4,570	35.9	2,997	39.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 3,580百万円 (16.0%) 23年3月期第1四半期 3,086百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	31.07	—
23年3月期第1四半期	34.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	182,023	105,952	55.3	1,170.46
23年3月期	174,435	103,220	56.4	1,143.82

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 100,613百万円 23年3月期 98,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	114,700	6.6	6,600	△20.3	6,300	△22.1	4,100	△15.6	47.70
通期	243,600	9.4	15,900	△4.2	15,300	△5.8	9,700	△0.8	112.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	87,569,383 株	23年3月期	87,569,383 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,608,789 株	23年3月期	1,608,781 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	85,960,599 株	23年3月期1Q	85,961,372 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による直接的な被害に加えて、原子力発電所事故による電力不足や放射性物質問題など、今後の経済活動へ大きく影響を及ぼす懸念が強まっております。また、デフレ基調・円高傾向は長期化の様相を見せており、雇用環境の低迷と相まって、引き続いて厳しい経済情勢が予測されております。

当社グループを取り巻く食品業界でも、経済情勢不安による消費者の節約志向・低価格志向は依然強く、また、主要原材料価格や重油価格等が高値で推移するなど、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは新中期経営計画「Global & Quality 2013」を掲げ、「グローバル経営の推進」、「技術経営の推進」、「サステナブル経営の推進」を方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は591億69百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は39億11百万円（前年同期比13.5%減）、経常利益は38億42百万円（前年同期比15.9%減）、四半期純利益は26億71百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(油脂部門)

国内では、主要原材料価格の上昇により採算は悪化しましたが、ヤシ油・パーム油・調合油・チョコレート用油脂が好調に推移し増収・増益となりました。

海外では、チョコレート用油脂は、アジア・北米での販売数量減に加えて、販売価格がココアバター相場下落の影響を受けて値下がりし減収・減益となりました。パーム油は原材料価格の上昇により売上高が前年同期を上回り、海外全体では増収・減益となりました。

この結果、当部門の売上高は257億63百万円（前年同期比24.3%増）、セグメント利益（営業利益）は13億86百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、スイートチョコ・カラーチョコは、流通菓子・パン用が減少し、業務用チョコレートは減収・減益となりました。マーガリン・ショートニング・フィリングはパン用が増加し、売上高は前年同期を上回りましたが、原材料価格の上昇により減益となりました。製菓・製パン素材輸入販売は、粉乳調製品の売上高が増加し、部門全体では、増収・減益となりました。

海外では、業務用チョコレート、マーガリン・ショートニングの東南アジアでの販売が好調に推移して、売上高は前年同期を上回りましたが、原材料価格上昇により採算が悪化し、減益となりました。

この結果、当部門の売上高は238億97百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益（営業利益）は18億14百万円（前年同期比22.3%減）となりました。

(大豆たん白部門)

大豆たん白素材は、米国ソレイ社との合弁解消により水産用途、健康食品用途が減少しましたが、冷食・惣菜用途、発酵培地用途、加工食品用途が好調に推移し、全体では減収・増益となりました。

大豆たん白機能剤の売上高は、前年同期比横這いとなりました。

大豆たん白食品は、即席麺市場・弁当給食市場向けが増加して売上高は前年同期を上回りました。

豆乳の売上高は前年同期を上回り、利益面では黒字に転換しました。

この結果、当部門の売上高は95億7百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益（営業利益）は7億10百万円（前年同期比46.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ75億88百万円増加し、1,820億23百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の増加10億5百万円、受取手形及び売掛金の増加40億26百万円、たな卸資産の増加21億4百万円、有形固定資産の増加4億46百万円、投資その他の資産の減少1億82百万円であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ59億3百万円増加し、456億24百万円となりました。

主な純資産の変動は、剰余金の配当10億31百万円と四半期純利益26億71百万円により利益剰余金が16億40百万円増加したこと及びその他の包括利益累計額の6億50百万円の増加等であります。この結果、自己資本比率は55.3%、1株当たり純資産は1,170円46銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ10億7百万円増加、前第1四半期連結累計期間末に比べ9億2百万円増加し、78億49百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、21億62百万円の支出となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益37億12百万円、減価償却費21億43百万円等による収入を、売上債権の増加額34億25百万円、仕入債務の減少額16億85百万円、法人税等の支払額24億57百万円等の支出が上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、13億88百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出14億36百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、44億48百万円の収入となりました。これは主に、短期借入金等による資金調達額の純増加額37億56百万円、長期借入による収入20億円、配当金の支払額10億31百万円による支出等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月9日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,864	7,869
受取手形及び売掛金	41,514	45,540
商品及び製品	18,149	19,626
原材料及び貯蔵品	16,431	17,058
繰延税金資産	1,022	1,314
その他	2,300	2,133
貸倒引当金	△116	△93
流動資産合計	86,166	93,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,196	29,153
機械装置及び運搬具（純額）	27,828	27,696
土地	15,576	15,590
建設仮勘定	2,207	2,774
その他（純額）	1,320	1,359
有形固定資産合計	76,128	76,574
無形固定資産	1,325	1,369
投資その他の資産		
投資有価証券	8,121	7,940
繰延税金資産	745	734
その他	2,198	2,203
貸倒引当金	△254	△249
投資その他の資産合計	10,811	10,629
固定資産合計	88,265	88,573
繰延資産	3	1
資産合計	174,435	182,023

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,408	17,094
短期借入金	13,515	16,602
コマーシャル・ペーパー	3,000	4,000
1年内償還予定の社債	20	20
1年内返済予定の長期借入金	3,294	3,500
未払法人税等	2,705	1,500
賞与引当金	1,653	2,461
災害損失引当金	170	115
その他	5,351	6,356
流動負債合計	48,119	51,652
固定負債		
社債	5,060	5,060
長期借入金	14,831	16,440
繰延税金負債	843	585
退職給付引当金	1,756	1,799
役員退職慰労引当金	400	358
その他	203	174
固定負債合計	23,095	24,418
負債合計	71,215	76,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324
利益剰余金	76,399	78,039
自己株式	△1,745	△1,745
株主資本合計	106,187	107,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,040	979
繰延ヘッジ損益	159	△52
為替換算調整勘定	△9,063	△8,140
その他の包括利益累計額合計	△7,863	△7,213
少数株主持分	4,896	5,339
純資産合計	103,220	105,952
負債純資産合計	174,435	182,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	53,510	59,169
売上原価	41,844	48,184
売上総利益	11,665	10,984
販売費及び一般管理費	7,144	7,072
営業利益	4,520	3,911
営業外収益		
受取配当金	82	86
為替差益	155	—
補助金収入	—	43
その他	81	66
営業外収益合計	319	197
営業外費用		
支払利息	182	159
寄付金	58	65
その他	28	41
営業外費用合計	270	266
経常利益	4,570	3,842
特別損失		
固定資産処分損	65	40
投資有価証券評価損	—	55
災害による損失	—	35
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
特別損失合計	102	130
税金等調整前四半期純利益	4,468	3,712
法人税、住民税及び事業税	1,340	1,287
法人税等調整額	△65	△366
法人税等合計	1,274	921
少数株主損益調整前四半期純利益	3,193	2,790
少数株主利益	195	119
四半期純利益	2,997	2,671

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,193	2,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△228	△61
繰延ヘッジ損益	△380	△212
為替換算調整勘定	496	1,057
持分法適用会社に対する持分相当額	5	6
その他の包括利益合計	△106	789
四半期包括利益	3,086	3,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,731	3,317
少数株主に係る四半期包括利益	355	263

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,468	3,712
減価償却費	2,289	2,143
退職給付引当金の増減額(△は減少)	55	29
受取利息及び受取配当金	△87	△95
支払利息	182	159
売上債権の増減額(△は増加)	△630	△3,425
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,407	△1,564
仕入債務の増減額(△は減少)	△209	△1,685
その他	551	1,055
小計	5,213	328
利息及び配当金の受取額	87	91
利息の支払額	△125	△125
法人税等の支払額	△2,993	△2,457
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,181	△2,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,778	△1,436
その他	△35	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,814	△1,388
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△757	2,756
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	—	1,000
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△119	△244
配当金の支払額	△1,289	△1,031
その他	246	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,919	4,448
現金及び現金同等物に係る換算差額	71	114
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,480	1,011
現金及び現金同等物の期首残高	7,873	6,842
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	554	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△4
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,947	7,849

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,719	23,144	9,646	53,510	—	53,510
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,258	22	79	2,359	(2,359)	—
計	22,977	23,166	9,726	55,869	(2,359)	53,510
セグメント利益(営業利益)	1,700	2,334	486	4,520	—	4,520

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	37,975	8,416	4,026	3,092	53,510	—	53,510
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	8,248	196	—	8,463	(8,463)	—
計	37,994	16,665	4,222	3,092	61,974	(8,463)	53,510
セグメント利益(営業利益)	2,723	1,131	400	212	4,468	52	4,520

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア:シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア

米州:米国

欧州:ベルギー

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ（以下 当社グループ）は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製パン 素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,763	23,897	9,507	59,169	—	59,169
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,217	27	232	3,476	(3,476)	—
計	28,980	23,925	9,739	62,646	(3,476)	59,169
セグメント利益（営業利益）	1,386	1,814	710	3,911	—	3,911

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	42,028	9,003	4,512	3,625	59,169	—	59,169
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27	9,064	126	—	9,217	(9,217)	—
計	42,055	18,067	4,639	3,625	68,387	(9,217)	59,169
セグメント利益（営業利益）	2,854	511	286	160	3,813	98	3,911

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア
米州：米国
欧州：ベルギー

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成24年3月期 第1四半期 決算補足資料

二つとない、をつくる。



1

目次

1. 連結 第1四半期業績
 - (1) 連結 損益概要
 - (2) 連結 油脂部門損益
 - (3) 連結 製菓・製パン素材部門損益
 - (4) 連結 大豆たん白部門損益
 - (5) 連結 地域別損益
 - (6) 連結 貸借対照表
 - (7) 連結 キャッシュ・フロー
 - (8) 連結 指標
2. 第2四半期業績予想及び通期業績予想
3. 単体 第1四半期業績

※1： 本資料に記載されている金額は億円未満を四捨五入で表示しています。
※2： 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2

1－(1) 連結 損益概要

(単位: 億円)

		10年度 Q1	11年度 Q1	対前期	
				増減額	増減率
売上高	油脂	207	258	+50	+24.3%
	製菓・製パン素材	231	239	+8	+3.3%
	大豆たん白	96	95	▲1	▲1.4%
	合計	535	592	+57	+10.6%
営業利益	油脂	17	14	▲3	▲18.5%
	製菓・製パン素材	23	18	▲5	▲22.3%
	大豆たん白	5	7	+2	+46.1%
	合計	45	39	▲6	▲13.5%
営業利益率		8.4%	6.6%	▲1.8p	—
経常利益		46	38	▲7	▲15.9%
四半期純利益		30	27	▲3	▲10.9%
四半期包括利益		31	36	+5	+16.0%

3

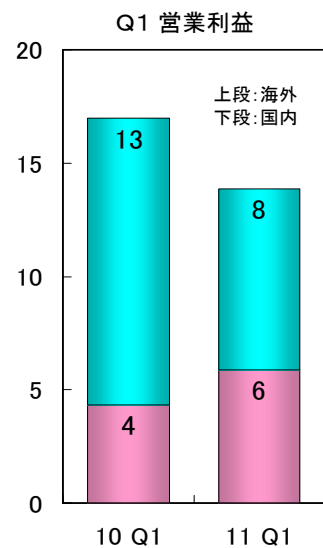
1－(2) 連結 油脂部門損益

(単位: 億円)

	10年度 Q1	11年度 Q1	対前期	
			増減額	増減率
売上高	207	258	+50	+24.3%
営業利益	17	14	▲3	▲18.5%

【業績サマリー】

- 国内外ともに原料価格の上昇などにより増収となったが、採算面では厳しい状況が続き全体としては減益。
- 国内市場では調合油・パーム油関連製品の販売数量が増加し増収・増益。
- 海外市場では原料価格の上昇により増収となったが、チョコレート用油脂の採算悪化などにより減益。



4

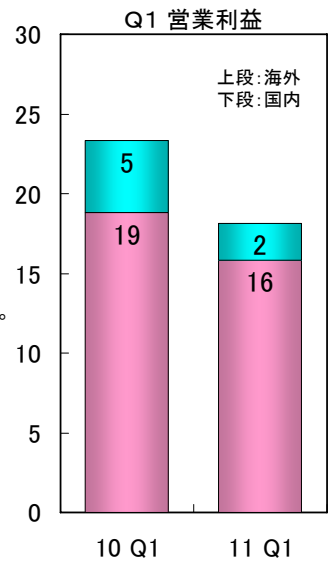
1-(3) 連結 製菓・製パン素材部門損益

(単位: 億円)

	10年度 Q1	11年度 Q1	対前期	
			増減額	増減率
売上高	231	239	+8	+3.3%
営業利益	23	18	▲5	▲22.3%

【業績サマリー】

- 国内市場での業務用チョコレートは販売減少し減収・減益。
- 国内・国外市場ともに数量・売上高は増加するも、原料価格の上昇により採算は悪化。
- 東南アジア市場での業務用チョコレート、マーガリン・ショートニングが好調に推移するも、原料価格の上昇により増収・減益。



5

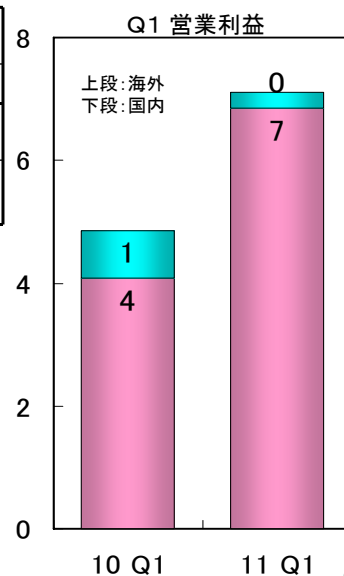
1-(4) 連結 大豆たん白部門損益

(単位: 億円)

	10年度 Q1	11年度 Q1	対前期	
			増減額	増減率
売上高	96	95	▲1	▲1.4%
営業利益	5	7	+2	+46.1%

【業績サマリー】

- 大豆たん白素材は販売子会社の合併契約解消により売上高は減少したものの、冷食・惣菜用途・発酵培地用途、加工食品用途が好調に推移し減収・増益。
- 大豆たん白食品は即席面市場などが増加し増収。
- 豆乳は売上増加により黒字に転換。



6

1－(5) 連結 地域別損益

(単位:億円)

		10年度 Q1	11年度 Q1	対前期	
				増減額	増減率
売上高	日本	380	420	+41	+10.7%
	アジア	84	90	+6	+7.0%
	欧米	71	81	+10	+14.3%
	合計	535	592	+57	+10.6%
営業利益	日本	27	29	+1	+4.8%
	アジア	11	5	▲6	▲54.8%
	欧米	6	4	▲2	▲27.1%
	消去	+1	+1	+0	—
	合計	45	39	▲6	▲13.5%

7

1－(6) 連結 貸借対照表

(単位:億円)

	10年度末	11年度 Q1末	対前期末	
流動資産	862	934	+73	流動資産の増加 ・売掛債権の増加 40億円 ・たな卸資産の増加 21億円
固定資産	883	886	+3	固定資産の増加 ・有形固定資産の増加 4億円 設備投資 18億円 減価償却費 ▲20億円 円高換算増加 7億円 ・無形固定資産の増加 0億円 ・投資その他資産の減少 ▲2億円
資産合計	1,744	1,820	+76	
有利子負債	397	456	+59	有利子負債の増加 ・単体 30億円 ・グループ会社 29億円
その他負債	315	304	▲10	
負債合計	712	761	+49	
純資産合計	1,032	1,060	+27	純資産の増加 ・利益剰余金の増加 16億円 当期純利益 27億円 配当金 ▲10億円 ・その他の包括利益累計額の増加 7億円 ・少数株主持分の増加 4億円

8

1-(7) 連結 キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	10年度 Q1	11年度 Q1	対前期
税引前四半期純利益	45	37	▲8
減価償却費	23	21	▲1
他増減	▲46	▲80	▲34
営業キャッシュ・フロー	22	▲22	▲43
投資キャッシュ・フロー	▲18	▲14	+4
フリー・キャッシュ・フロー	4	▲36	▲39
借入金等による調達・返済	▲9	55	+64
配当支払・自己株取得等	▲10	▲11	▲0
財務キャッシュ・フロー	▲19	44	+64
現金及び現金同等物増減	換算差額含む ▲15	換算差額含む 10	+25
新規連結・連結除外に伴う増減	6	▲0	▲6
現金及び現金同等物残高	69	78	+9

(注)・減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

・現金及び現金同等物増減には、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めています。

9

1-(8) 連結 指標

(単位: 億円)

	08通期	09Q1	09通期	10Q1	10通期	11Q1
設備投資額	94	18	78	15	76	18
減価償却費	94	21	92	22	88	20
有利子負債	558	551	446	438	397	456
純資産(少持除く)	841	873	942	956	983	1,006
総資産	1,721	1,746	1,743	1,745	1,744	1,820
自己資本比率	48.9%	50.0%	54.0%	54.8%	56.4%	55.3%
D/Eレシオ	0.66	0.63	0.47	0.46	0.40	0.45
ROE	8.9%	10.0%	12.0%	12.6%	10.2%	10.8%
ROA	5.8%	7.6%	10.0%	10.4%	9.3%	8.8%

(注)・減価償却費は、有形固定資産の減価償却費を表示しています。

・純資産は少数株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。

・D/Eレシオ＝有利子負債÷純資産(少数株主持分除く)

・ROE＝当期純利益÷純資産(Q1指標は、年換算しています。)

・ROA＝経常利益÷総資産(Q1指標は、年換算しています。)

10

2 第2四半期業績予想及び通期業績予想

【連結業績予想】

(単位:億円)

	第2四半期累計			通 期		
	前 期	当 期	増 減	前 期	当 期	増 減
売上高	1,076	1,147	+71	2,227	2,436	+209
営業利益	83	66	▲17	166	159	▲7
経常利益	81	63	▲18	162	153	▲9
四半期(当期)純利益	49	41	▲8	98	97	▲1

【単体業績予想】

(単位:億円)

	第2四半期累計			通 期		
	前 期	当 期	増 減	前 期	当 期	増 減
売上高	640	702	+62	1,344	1,492	+148
営業利益	46	43	▲3	105	104	▲1
経常利益	47	42	▲5	107	106	▲1
四半期(当期)純利益	23	26	+3	64	64	+0

(注) 平成23年5月9日発表の第2四半期(累計)業績予想並びに、通期業績予想は変更していません。

11

3 単体 第1四半期業績

(単位:億円)

	10年度 Q1	11年度 Q1	対前年同期	
			増減額	増減率
売上高	320	362	+42	+13.2%
営業利益	25	25	▲0	▲1.3%
経常利益	26	26	+0	+0.1%
四半期純利益	16	15	▲0	▲2.8%

12